



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 フリュー株式会社
 コード番号 6238 URL <http://www.furyu.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田坂 吉朗
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 笹沼 理成 TEL 03 (5728) 1761
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,033	△0.0	1,353	△45.2	1,349	△45.3	909	△46.2
29年3月期第2四半期	12,036	△2.0	2,470	10.7	2,466	9.4	1,689	14.3

（注）包括利益 30年3月期第2四半期 889百万円（△45.3%） 29年3月期第2四半期 1,625百万円（13.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	32.13	—
29年3月期第2四半期	59.72	—

当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,707	16,129	74.3
29年3月期	22,324	16,089	72.1

（参考）自己資本 30年3月期第2四半期 16,129百万円 29年3月期 16,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	4.5	3,000	△23.5	3,000	△23.5	2,100	△25.0	74.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	28,296,000株	29年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	192株	29年3月期	192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	28,295,808株	29年3月期2Q	28,295,933株

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国の経済は、政府の各種政策効果の下支えもあり一部緩やかな回復傾向がみられるものの、米国政権の政策動向や、世界的な地政学的リスクの高まり等の懸念により、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸としたキャラクター価値の最大化に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高12,033百万円（前年同期比100.0%）、営業利益1,353百万円（前年同期比54.8%）、経常利益1,349百万円（前年同期比54.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は909百万円（前年同期比53.8%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（プリントシール事業）

プリントシール事業におきましては、プリントシール機の新機種「SALON AIR（サロンエア）」を発売したものの、プリントシール機全体としてのプレイ回数は減少し、シール紙売上は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,174百万円（前年同期比98.4%）、営業利益は609百万円（前年同期比69.7%）となりました。

（コンテンツ・メディア事業）

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」の入会促進施策と継続利用促進施策に取り組み、平成29年9月末における有料会員数は162万人となりました。

一方、WEBマガジンやメール広告「プリアドメール」、カラーコンタクトレンズの販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,186百万円（前年同期比107.3%）、営業利益は2,108百万円（前年同期比98.0%）となりました。

（キャラクタ・マーチャндаイジング事業）

キャラクタ・マーチャндаイジング事業におきましては、多数の新規キャラクター版権の獲得とその商品化を行いました。前期主力商品に匹敵するような売上の獲得に至らず、前年同期の売上を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,414百万円（前年同期比88.5%）、営業利益は108百万円（前年同期比27.7%）となりました。

（ゲーム事業）

ゲーム事業におきましては、ニンテンドー3DS™向けオリジナルタイトル「アライアンス・アライブ」の発売（平成29年6月）や、スマートフォン向けオリジナルゲーム「恋愛幕末カレシ～時の彼方で花咲く恋～」の配信開始（平成29年3月）等により、売上を伸ばしました。一方、第3四半期以降に発売または配信開始するゲームへの開発投資の影響もあり、前年同期に比べ営業損失は拡大いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,022百万円（前年同期比126.0%）、営業損失は628百万円（前年同期は営業損失347百万円）となりました。

（その他）

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高は235百万円（前年同期比66.9%）、営業利益は41百万円（前年同期比40.8%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が21,707百万円、負債が5,577百万円、純資産は16,129百万円となりました。また、自己資本比率は74.3%となりました。

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ617百万円減少し、21,707百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比1,035百万円の減少）、たな卸資産の増加（前連結会計年度末比614百万円の増加）によるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ657百万円減少し、5,577百万円となりました。これは主に流動負債その他（未払金）の減少（前連結会計年度末比429百万円の減少）、流動負債その他（リース債務）の減少（前連結会計年度末比303百万円の減少）によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40百万円増加し、16,129百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比60百万円の増加）によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、営業活動による収入が投資活動及び財務活動による支出を下回ったため、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し11,319百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、税金等調整前四半期純利益を1,345百万円、減価償却費を910百万円計上しました。また、売上債権が828百万円減少し、法人税等の支払額が487百万円となりました。その結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（1,415百万円の収入）に比べ123百万円収入が減少し1,291百万円の収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出が644百万円、無形固定資産の取得による支出が136百万円となりました。その結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（357百万円の支出）に比べ454百万円支出が増加し812百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、セール・アンド・リースバックによる収入が792百万円、リース債務の返済による支出が795百万円、配当金の支払額が848百万円となりました。その結果、財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間（710百万円の支出）に比べ140百万円支出が増加し851百万円の支出となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から平成29年11月9日公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」の通り修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,693,790	11,319,528
受取手形及び売掛金	3,995,327	2,960,118
電子記録債権	600,364	806,877
たな卸資産	1,062,003	1,676,289
その他	1,178,728	1,247,914
貸倒引当金	△13,531	△6,566
流動資産合計	18,516,683	18,004,162
固定資産		
有形固定資産	2,465,650	2,314,100
無形固定資産	230,496	241,597
投資その他の資産		
その他	1,125,047	1,160,262
貸倒引当金	△13,147	△12,906
投資その他の資産合計	1,111,900	1,147,356
固定資産合計	3,808,047	3,703,055
資産合計	22,324,730	21,707,218

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,050	828,199
電子記録債務	1,481,015	1,553,963
未払法人税等	545,252	476,453
賞与引当金	5,945	5,491
返品調整引当金	142,092	128,210
その他	2,584,160	1,850,352
流動負債合計	5,545,517	4,842,670
固定負債		
退職給付に係る負債	676,293	721,499
その他	13,079	13,079
固定負債合計	689,373	734,578
負債合計	6,234,890	5,577,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,639,216	1,639,216
利益剰余金	12,837,020	12,897,337
自己株式	△178	△178
株主資本合計	16,115,273	16,175,590
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	52,280	29,636
退職給付に係る調整累計額	△77,714	△75,258
その他の包括利益累計額合計	△25,433	△45,621
純資産合計	16,089,839	16,129,969
負債純資産合計	22,324,730	21,707,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,036,338	12,033,470
売上原価	4,842,969	5,195,173
売上総利益	7,193,368	6,838,297
販売費及び一般管理費	4,722,860	5,484,667
営業利益	2,470,508	1,353,630
営業外収益		
持分法による投資利益	4,481	—
投資事業組合運用益	—	7,334
保険解約返戻金	1,443	—
償却債権取立益	39	7
その他	686	595
営業外収益合計	6,650	7,937
営業外費用		
支払利息	171	584
為替差損	3,025	7,828
投資事業組合運用損	7,649	—
持分法による投資損失	—	3,402
その他	67	1
営業外費用合計	10,913	11,817
経常利益	2,466,244	1,349,750
特別損失		
固定資産除売却損	4,607	4,302
特別損失合計	4,607	4,302
税金等調整前四半期純利益	2,461,636	1,345,448
法人税等	771,771	436,256
四半期純利益	1,689,865	909,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,689,865	909,192

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	1,689,865	909,192
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△66,007	△22,644
退職給付に係る調整額	1,865	2,456
その他の包括利益合計	△64,142	△20,188
四半期包括利益	1,625,722	889,004
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,625,722	889,004
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,461,636	1,345,448
減価償却費	771,521	910,959
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,815	△7,206
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△7,143	△13,881
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	31,782	45,205
賞与引当金の増減額（△は減少）	△652	△454
持分法による投資損益（△は益）	△4,481	3,402
支払利息	171	584
固定資産除売却損益（△は益）	4,607	4,302
売上債権の増減額（△は増加）	288,672	828,695
たな卸資産の増減額（△は増加）	△626,427	△614,286
仕入債務の増減額（△は減少）	△185,525	114,097
その他	△651,997	△837,287
小計	2,080,350	1,779,578
利息及び配当金の受取額	38	40
利息の支払額	△171	△584
法人税等の支払額	△664,755	△487,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,415,461	1,291,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△503,957	△644,509
有形固定資産の売却による収入	1,025	—
無形固定資産の取得による支出	△178,690	△136,288
保険積立金の解約による収入	332,326	—
その他	△8,212	△31,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357,507	△812,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
セール・アンド・リースバックによる収入	699,820	792,887
リース債務の返済による支出	△702,380	△795,034
自己株式の取得による支出	△178	—
配当金の支払額	△707,400	△848,874
財務活動によるキャッシュ・フロー	△710,138	△851,021
現金及び現金同等物に係る換算差額	△252	△2,619
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	347,562	△374,261
現金及び現金同等物の期首残高	10,196,851	11,693,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,544,414	11,319,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,243,101	3,900,924	2,728,538	810,961	11,683,525
セグメント間の内部売上高又 は振替高	-	-	-	-	-
計	4,243,101	3,900,924	2,728,538	810,961	11,683,525
セグメント利益又は損失(△)	875,390	2,151,659	391,233	△347,345	3,070,936

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	352,812	12,036,338	-	12,036,338
セグメント間の内部売上高又 は振替高	1,367	1,367	△1,367	-
計	354,180	12,037,706	△1,367	12,036,338
セグメント利益又は損失(△)	100,916	3,171,853	△701,345	2,470,508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△701,345千円には、全社費用△705,245千円、セグメント間取引3,900千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	プリントシール 事業	コンテンツ・メ ディア事業	キャラクタ・マ ーチャンダイジ ング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	4,174,996	4,186,450	2,414,105	1,022,039	11,797,591
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,174,996	4,186,450	2,414,105	1,022,039	11,797,591
セグメント利益又は損失(△)	609,724	2,108,268	108,564	△628,142	2,198,415

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	235,878	12,033,470	-	12,033,470
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	235,878	12,033,470	-	12,033,470
セグメント利益又は損失(△)	41,207	2,239,622	△885,992	1,353,630

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△885,992千円には、全社費用△889,892千円、セグメント間取引3,900千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。